

科目名		基礎経営学 (Introduction to Business Administration)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	前期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】松野 成悟							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)企業と経営の概念が理解でき、経済社会におけるそれらの役割を説明できる。 (2)組織マネジメントのしくみや機能が理解でき、特徴や問題点などを指摘できる。 (3)ビジネスと売買取引の具体的な流れと簿記の役割が理解できる。								
学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(2)		—					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「新簿記 新訂版」新井益太郎・稲垣富士男著 (実教出版)								
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト・レポート	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35	30						100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○	○						
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>企業の経営活動を対象にして、その構成と行動原理を分析する学問が経営学である。本授業では経営学に初めて接する学生のための講義として、経営学とはどのような学問なのか、またどのような問題を取り上げているのかを身近な事例を用いながらわかりやすく解説し、今後の経営・会計系科目を履修して行く上での基礎固めを図りたい。なお、後半ではビジネスと売買取引の具体的な流れについて学習し、簿記の役割についても言及する。</p>									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 経営学の射程	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、 評価方法などを理解できる。 ・経営学の目的や研究対象、学問的特徴などを理解 できる。	
2	企業と経営①	・企業の目的やしくみを理解できる。	適宜指示する。
3	企業と経営②	・企業形態の種類を理解できる。	適宜指示する。
4	企業と経営③	・株式会社の代表的な構造を理解できる。	適宜指示する。
5	企業と経営④	・株式会社のガバナンスを理解できる。	適宜指示する。
6	企業と経営⑤	・経営組織の種類を理解できる。	適宜指示する。
7	企業と経営⑥	・経営組織の設計と経営戦略との関係を理解 できる。	適宜指示する。
8	中 間 試 験		
9	ビジネスの実際①	・試験問題の解説を通じて、間違っ箇所を 理解できる。 ・売買取引の一般的な手順を理解できる。	適宜指示する。
10	ビジネスの実際②	・売買取引の種類を理解できる。	適宜指示する。
11	ビジネスの実際③	・売買に関する各種計算方法を理解できる。	適宜指示する。
12	ビジネスの実際④	・代表的な代金決済の方法に関して、売掛 金・買掛金が理解できる。	適宜指示する。
13	ビジネスの実際⑤	・代表的な代金決済の方法に関して、小切手 が理解できる。	適宜指示する。
14	ビジネスの実際⑥	・代表的な代金決済の方法に関して、手形が 理解できる。	適宜指示する。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違っ箇所を 理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間